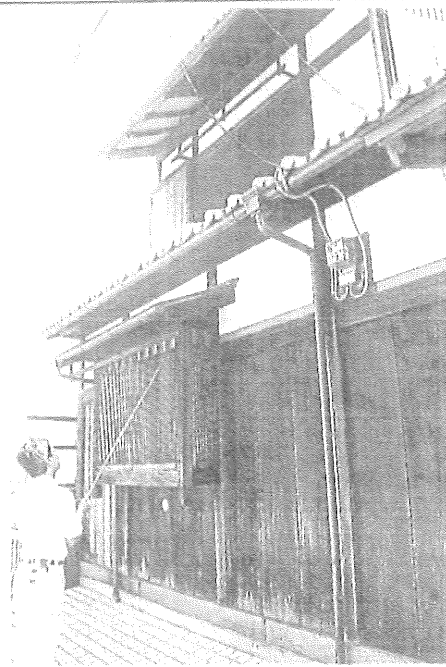


# 町家、自分で修復しよう

自分で町家や古民家を直せるようになることを目指し、左官や塗装の体験学習講座が行われる京町家(京都市中京区)



## 建築職人団体、来月から講座

つけられるようセミナーを開いており、改修もできるようなれば、家への愛着が増し、年代を経た建物が消えていく事態も減らせると考えたという。

講座は2月まで全10回。聚楽壁の塗り替えや板柱の塗り、棚や手すり

「空き家」の増加や保存意識の低さなど京町家をめぐる課題が山積する中、京都市内の建築業の職人でつくるNPO法人「古家改修ネットワーク」が10月から、町家や古民家を自分で直すための体験学習講座を開く。国土交通省の補助があるため無料で、家の手入れに必要な左官や塗装、大工を京町家などで学ぶ。同法人はもともと、リフォーム詐欺の横行を背景に市民に適切な情報を提供しようと、工務店主や左官業者などが2007年に立ち上げた。家屋の傷みを自分で早急に見

の設置、瓦の直しなどを同法人の職人らが指導する。築約70年の中京区の京町家と北区の近代建築「紫明会館」が協力、両会場で実践的に行う。伝統素材のほか、利用が簡単な市販品も使う。同法人の荒木勇理事長(48)は「家に興味を持つてほしい。興味を持てば家の傷みに気づき、住まいを長く持ちさせることにつながる」と話している。

先着30人。町家や古民家に住む人が対象。問い合わせは同法人☎075(882)8721へ。(松田ゆい)